

景況実感調査(2017年1月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 実稼働日数は18日と、前月並みとなり数量、売上ともに大差ないが、一部メーカーのロールアップ遅れが販売の機会損失に繋がった感もある。店売り市場での末端ユーザーの仕事量が急増している訳ではないが、供給サイドから聞こえてくるのはロールタイト化アナウンスばかりで、本当に玉が切れて来る2~3月になって価格面でどれだけ頑張って採算改善に持っていけるかだろう。新日鐵住金による日新製鋼の子会社化も決まり、品種別商流再編も大いに気になるところだ。
- ② メーカーの受け入れカットが反映され始め、薄板の需給タイト感は継続するとみている。
- ③ 在庫は減少傾向。メーカーの納期遅れが影響。

中板

- ① 前月に続き、メーカーからの供給が極端に少なくなり、歯抜け在庫が顕著となって、引合いに対して応えられないケースが頻繁になって来ている。ただし、店売り市場の二次三次特約店では、末端需要にまだ大きな盛り上がりが見られないことから、11月にあった仮需の在庫補充という動きは見られない。そうした状況から、歯抜けがあるにもかかわらず市況はやや落ち着いた感じである。ユーザーへの価格転嫁も、競合他社の動きも見ながらの対応で、メーカー値上げ分の一気の転嫁は難しい状況であり、自動車メーカー等における早期の値上げ表明が待たれるところである。

厚板

- ① メーカー値上げを切板価格に転嫁できず、苦勞している。

—舟型鋼

- ① 土木関係とインフラ投資関係に荷動きがあった。しかし、決して市況上昇による先物手当ではない。先行き、力強い荷動き感もなく、動意付いた市況維持が火急の課題だ。
- ② 鋼材の価格を早く客先に転嫁していきたいが、転嫁できず。

HI形鋼

- ① 1月の倉出しは増加し、日当たりもプラス。足下は一服感があり、落ち着いているが、在庫の歯抜けもあり、もう一段の価格転嫁を実行していく。
- ② 1月に入って引合いが減ってきた。市況上昇の気運が削がれるのが心配になってきた。ただし、市況アップが出来ないと流通が貧乏くじを引くことになる。したがって、何が何でも遂行しなければならない。

異形棒鋼

- ① 先高観から11月に明細が入った。12月、1月の荷動きは普通。直送57円/kg、倉出し62円/kgとなっている。
- ② 不需求期に入り荷動きが低調の中、値上げ転嫁を押し進めている。しかし、荷動き不振は予想以上に深刻で、苦しい展開となってきた。

平鋼

- ① メーカー値上げに伴う仮需は一巡し、荷動きは落ち着いている。実需は多少出ていると思われるが、在庫を持つほどの勢いはない。メーカーが連続値上げを行ったため、価格転嫁を早急に行いたいところだが、市中への浸透は遅れている。

車巻開形鋼

- ① 店売りが先月後半から低調になってしまい、苦しい状況である。
- ② 前年比で売上数量、売上高は微増。例年だと、これから閑散期に入るが、昨年の動向から予測しづらい状況。

鋼管

- ① 土木関連の遅延物件が動き出し、一部サイズにタイト感が見られる。市況はメーカー値上げを受けて強含みで推移する見通し。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品は堅調な動きが続いており、この先もしばらくは同様の動きが続くものと思われる。建設機械関連は、中国向け等のパワーショベル輸出の増加により回復しており、また、秋口の国内排ガス規制の需要も見込まれる。店売りの動きは変化なく、横這いで推移している。各鉄鋼メーカーの値上げに伴い、再販価格の値上げアナウンスを開始しており、転嫁せざるを得ない状況である。在庫は適正レベルで推移している。
- ② 各メーカーの値上げに伴い価格転嫁が急がれる中で、次なる値上げの話もある。店売りの状況は更に厳しくなっている。

鋼材全般

- ① メーカー値上げに対応しきれしていない。需要がある訳ではないので、1~2月は厳しいと思われる。4月以降に期待。

その他

<スクラップ>

- ① スクラップ価格に天井感あり。海外向け、国内メーカーともにスクラップ購入意欲は思わしくない。2月に向けては高値への期待より、価格下落への警戒感。

<金属表面処理加工>

- ① 1月は紐付き、物件物とも計画通りであったが、スポットが前月比20%減の扱い量となった。まとまった物量の引合いも多くなり、2月以降に期待する。各種原料高騰による塗料値上げの話があり、状況を見ながら加工賃への転嫁を検討。